

高圧ガス施設等津波被害軽減対策事例シート

整理番号 15	実施項目 津波避難看板の設置等による避難誘導體制の強化	
大項目 避難体制	細項目 避難誘導體制	関連事例 16
実施対象施設 構内等	実施費用 数万円程度	実施に要する期間 数週間程度

津波被害事例等

津波発生から到達までの時間が短い場合などは特に逃げ遅れによる被害が発生することが考えられる。また、スポットで入っている協力会社の社員や一般の来訪者などは、事業所場内の地理について不案内であるため、緊急時には混乱を生じること考えられる。

津波対策事例

【津波避難看板の設置】

構内の各エリアに津波避難看板を設置することにより、従業員ほか来訪者を含めた避難体制を強化する。

●設置箇所

製造プラント以外の耐震性のある鉄筋コンクリート構造等で想定浸水深さに応じた高さ（2階以上）を有する建築物の入口等の見え易い場所に設置している。

●看板記載内容

津波に対して安全な避難場所、高台であることを示している。

【避難の誘導】

従業員等は非常対策部の指示により、エリア毎に指定された避難場所へ避難する。その際、構内の地理に不案内な外来者等、周辺の人達へも情報提供し、あるいは誘導しながら避難する。



津波避難看板



津波避難看板の設置状況

要点

○津波避難場所への逃げ遅れを防止するため、避難場所は構内に広く分散して複数箇所設置することが重要となる。また、特に事業所構内の地理に不案内な来訪者などの緊急時における混乱を防止するため、津波避難場所が一目で分かるような目印や案内看板を設置しておくとともに、必要に応じて避難場所の周知を定期的にも実施することも有効と考えられる。